

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 1 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【公表番号】 特表 2002-516063 (P2002-516063A)
 【公表日】 平成 14 年 6 月 4 日 (2002.6.4)
 【出願番号】 特願 2000-525554 (P2000-525554)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/40 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 9/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/25 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/40

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 9/00

C 1 2 Q 1/25

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 11 月 8 日 (2005.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 図 5 に示されるカンジダアルビカンス由来のアセチル-C O A-カルボキシラーゼ (ACCase) 遺伝子をコードする、ポリヌクレオチド。

【請求項 2】 図 4 に示される、請求項 1 記載のポリヌクレオチド。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載のポリヌクレオチドを含む、ポリヌクレオチドプローブ。

【請求項 4】 図 5 に示されるカンジダアルビカンス由来のアセチル-C O A-カルボキシラーゼ (ACCase) ポリペプチド。

【請求項 5】 請求項 4 に記載のポリペプチドに特異的な抗体。

【請求項 6】 請求項 1 または 2 に記載のポリヌクレオチドの全体または一部に特異的なアンチセンスポリヌクレオチド。

【請求項 7】 請求項 1 または 2 に記載のポリヌクレオチドに相当する RNA 転写産物。

【請求項 8】 図 5 に示されるカンジダアルビカンス由来のアセチル-C O A-カルボキシラーゼ (ACCase) 遺伝子をコードする、ポリヌクレオチドを含むプラスミドによって、中断または補填されたそのアセチル-C O A-カルボキシラーゼ遺伝子の一つのコピーを有する、2 倍体サッカロマイセスセレビシエ宿主菌株を含む、カンジダアルビカンス

由来のアセチル－C O A－カルボキシラーゼ（ACCase）ポリペプチドを発現させるための発現系。

【請求項 9】 プラスミド中でのカンジダアルビカンス由来のアセチル－C O A－カルボキシラーゼ（ACCase）ポリペプチドを発現を、異種プロモーターの制御下で生じさせ、カンジダアルビカンス由来のアセチル－C O A－カルボキシラーゼプロモーターの制御下での発現と比較して、ポリペプチドの過剰発現を可能にする、請求項 8 記載の発現系。

【請求項 10】 ポリペプチドのインヒビターを同定するアッセイでの、請求項 4 記載のポリペプチドの使用。